

紙つなげ！彼らが本の紙を

造っている 再生・日本製紙石巻工場

佐々涼子 著 早川書房

一冊のコミックを読者に届けるため、彼らがどんな想いで復興したのか、ぜひ知ってください。単行本や文庫本を手にするたびに、職人たちの誇りと意地を思い出してください。そして、どうかあの震災を忘れないで。ノンフィクションは時に読み手の人生に影響を与えるものです。この本にもそんな力がある。私はそう信じています。
(佐々涼子さんご本人からのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

明日の子供たち

有川浩 著 幻冬舎

この本は、当時児童養護施設で暮らしていたある女子高生が有川浩さんに手紙を送ったところから始まりました。彼女が踏み出した小さな一歩を作家は受け止め、そこから作品が生まれます。そういうことって本当に起きるんです。高校生の皆さんも最初の一歩をぜひ踏み出せますよう。

(担当編集者さんからのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

本屋さんのダイアナ

柚木麻子 著 新潮社

選んでいただき、ありがとうございます。今は娯楽も多く、活字に向かう時間を捻出するのも、難しい時があるかもしれせん。でも、活字にくるまってゴロゴロするうちに、いつの間にか自分の世界が出来てくるって楽しい経験です。これからもよろしくお願ひします。

(柚木麻子さんご本人からのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

鹿の王 (上・下)

上橋菜穂子 著 KADOKAWA

遠い、美しいところで暮らしてみたいと憧れながら、実際は弱虫で、家でぬくぬくしていた高校生の頃、私は物語を読むことで、遠い異国で暮らし、過酷な、でも美しい人生の中を歩いていく「経験」をしていました。本の中で生きた、あの頃の思いが、いまでも私の心の底で深く静かに輝いています。『鹿の王』が、そんな一冊になってくれたら、こんなにうれしいことはありません。選んでくださって、どうもありがとうございます。

(上橋菜穂子さんご本人からのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

わたしはマララ

教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女

マララ・ユスフザイ、クリスティーナ・ラム 著
金原瑞人、西田佳子 訳 学研パブリッシング

この本には、まったく異なった文化、環境で暮らす人々が描かれています。まず、その違いに驚いてください。そして、こんなに違う世界で生きる人々と心が通じ合う喜びを味わってください。それからもうひとつ、学ぶって本当は楽しいことなんだと実感してもらえたらうれしいです。

(翻訳者・金原瑞人さんからのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

ハケンアニメ！

辻村深月 著 マガジンハウス

「頑張っても結果が出ない」とか「正直者が損をする」と言われてしまう世の中で、それでも暑苦しいくらい頑張ることには意味がある、ということを伝えたくて、主人公たちと一緒に私も最後まで走り抜けました。

この気持ちを受け止めていただき、とても嬉しいです。

(辻村深月さんご本人からのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

似ていることば

おかべたかし 文 やまでたかし 写真 東京書籍

本書では38組の似ている「もの」と「ことば」を写真で紹介しています。似ているものは、ややこしく敬遠しがちですが、この本を読んだみなさんが「この2つはなぜ似ているの？」と興味をもってくれるようになれば嬉しいです。そんな興味こそが、学ぶ力の土台になると思っています。

(おかべたかしさんご本人からのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014

悟浄出立

万城目学 著 新潮社

西遊記の沙悟浄、三国志の趙雲、司馬遷の娘——中国の古典に現れる脇役を主役にしたら、どうなるか？ 脇役だからこそより浮かび上がる人生のままならなさは、現代の私たちが抱える苦悩や葛藤に重なります。一歩踏み出す勇気と強さをもらえる、全5話を収録。中国史の勉強の一助とも！

(担当編集者さんからのコメント)

埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2014